2026年度 第6回（11月）北辰テスト対策 予想問題　解答・解説

社会

1　問1（3点）

経済特区

解説: 中国は1970年代末から改革・開放政策を進め、シェンチェン（深圳）など沿岸部の都市に**経済特区**をもうけた。税金を安くするなどして外国の企業を呼びこみ、工業を発展させた。その結果、中国は「世界の工場」とよばれるようになった。

採点ポイント: 漢字4字指定。「経済特別区」など字数がちがうものは不可。

1　問2（3点）

イ

解説:
Ⅰ：ガンジス川を聖なる川とするヒンドゥー教徒が多数をしめる国は**インド**。
Ⅱ：国民の約9割がイスラム教徒で、信者の数が世界で最も多い国は**インドネシア**。
Ⅲ：仏教やキリスト教の信者が多く、儒教の考え方が親や目上の人を敬う習慣として残っているのは**韓国**。

よって Ⅰ－インド　Ⅱ－インドネシア　Ⅲ－韓国 の組み合わせ。

採点ポイント: 宗教の名（ヒンドゥー教・イスラム教・儒教）と国を結びつける。

1　問3（3点）

ア

解説: 西アジアのサウジアラビア、イラン、イラクなどの産油国は、石油の価格や生産量を調整して自国の利益を守るために、**石油輸出国機構（OPEC）**をつくった。
ASEAN（東南アジア諸国連合）：東南アジアの国々の経済・政治の協力組織
APEC（アジア太平洋経済協力）：太平洋をとりまく国・地域の経済協力の会議
EU（ヨーロッパ連合）：ヨーロッパの国々の政治・経済の統合組織

採点ポイント: 産油国の組織＝OPEC（石油輸出国機構）。

1　問4（3点）

二期作

解説: 同じ耕地で1年に2回、**同じ作物**を栽培することを**二期作**という。タイやベトナムなど、1年を通して気温が高い地域で行われる。これに対し、同じ耕地で1年に**ちがう作物**を続けてつくることは二毛作で、日本の筑紫平野などで行われている。

採点ポイント: 漢字3字指定。「二毛作」は不可（ちがう作物をつくる方法）。

1　問5（3点）

エ

解説: 人口密度は、人口（万人）÷面積（万km²）で求める。
中国：141000÷960＝約147人/km²
インド：142000÷329＝約432人/km²
インドネシア：27800÷191＝約146人/km²
韓国：5170÷10＝517人/km²
サウジアラビア：3600÷215＝約17人/km²

最も高いのは**韓国**、最も低いのは**サウジアラビア**。人口の多さだけで判断せず、面積で割ることが必要。

採点ポイント: 人口が最も多いインドが最高とは限らない。割り算をして比べる。

1　問6（5点）

英語を話せる技術者が多く、アメリカ合衆国との時差を利用して、昼夜を通して仕事を進められるから。

解説: インドは、かつてイギリスの植民地であったため、**英語**を話せる技術者が多い。また、アメリカ合衆国とは約半日の**時差**があり、アメリカが夜のあいだにインドで作業を進めれば、昼夜を通して仕事ができる。こうした利点から、南部のベンガルールなどでICT産業が発展した。

採点ポイント（5点満点）:
2点：英語を話せる（使える）技術者が多いこと
2点：アメリカ合衆国との時差を利用していること
1点：以上が産業の成長の理由として述べられていること

2　問1（3点）

カルデラ

解説: 火山の大きな噴火のあと、火口付近が落ちこんでできた大きなくぼ地を**カルデラ**という。阿蘇山のカルデラは世界有数の大きさで、くぼ地の中に町や水田が広がり、外輪山に囲まれている。

採点ポイント: カタカナ指定。ひらがな・漢字は不可。

2　問2（3点）

ウ

解説:
II（人口が最も多く、製造品出荷額等も最大） → 福岡県。福岡市・北九州市などの大都市があり、工業もさかん。
III（農業産出額が最大） → 鹿児島県。シラス台地を中心に、肉牛・豚・にわとりなどの畜産がさかんで、さつまいもの栽培も多い。
I（残り） → 熊本県。人口・出荷額はIIとIIIの中間で、野菜や米の栽培、畜産がさかん。

よって I－熊本県　II－福岡県　III－鹿児島県。

採点ポイント: 「人口・出荷額が最大＝福岡」「農業産出額が最大＝鹿児島」の順で絞る。

2　問3（3点）

イ

解説:
ア：八代平野で栽培がさかんなのは、い草（畳表の原料）やトマトなど。りんごは冷涼な青森県や長野県。
イ（正しい）：福岡県・佐賀県にまたがる**筑紫平野**は、米をつくったあとの冬に小麦などをつくる**二毛作**がさかんである。
ウ：沖縄県は年間を通して温暖で、雪はほとんど降らない。
エ：九州地方で最も人口が多い都市は、福岡県の福岡市である。

採点ポイント: 地域の特色（平野と農業・気候・都市）を正しく結びつける。

2　問4（5点）

火山灰が積もった台地で水もちが悪く、水田に必要な水がたまりにくいから。

解説: シラス台地は、火山灰が厚く積もってできた台地で、土がさらさらしていて**水もちが悪い**。水田には水をためる必要があるので稲作には向かず、さつまいもなどの畑作や、牛・豚・にわとりの畜産がさかんになった。近年は、水を引く工事が進み、畑地が広がっている。

採点ポイント（5点満点）:
2点：火山灰が積もってできた台地であること
2点：水もちが悪いこと
1点：稲作（水田）に向かない、という結論

2　問5（2点）

エ

解説:
ア：川の付近の標高点は、西の端が45m、東の端が32m。川は**高いほうから低いほうへ**流れるので、**西から東へ**流れている。東から西へは誤り。
イ：地形図上の3cmは、3cm×25000＝75000cm＝**750m**。約1.5kmは誤り。
ウ：果樹園（○）が広がっているのは、市役所（◎）の周辺ではなく、寺院（卍）のある北西の丘の斜面。
エ（正しい）：郵便局（〒）は、駅から見て右上の方向。地形図の上が北なので、**北東**の方向にある。

採点ポイント: 方位（上が北）、縮尺の計算（図上の長さ×25000）、標高から川の流れを読む。

3　問1（3点）

法隆寺

解説: 聖徳太子（厩戸皇子）が奈良の斑鳩に建てたと伝えられる寺院が**法隆寺**。金堂や五重塔は、現存する世界最古の木造建築とされ、世界遺産にも登録されている。この時代の仏教文化を**飛鳥文化**という。

採点ポイント: 漢字3字指定。「法隆」だけは不可。

3　問2（5点）

遣唐使が停止され、唐の文化の影響が弱まって、日本の風土や生活に合った独自の文化が発達したから。

解説: 894年、菅原道真の意見で**遣唐使**の派遣が停止された。その後、唐の文化の影響が弱まり、それまでに取り入れた文化をもとに、日本の風土や生活に合った**国風文化**が栄えた。かな文字（ひらがな・カタカナ）が広まり、貴族の暮らしを描いた文学が生まれた。

採点ポイント（5点満点）:
2点：遣唐使が停止されたこと
1点：唐の文化の影響が弱まったこと
2点：日本の風土や生活に合った独自の文化が発達したこと

3　問3（3点）

ウ

解説:
ア：運慶らがつくった東大寺南大門の金剛力士像は、**鎌倉時代**の文化。
イ：近松門左衛門は、**江戸時代**（元禄文化）の人形浄瑠璃の脚本家。
ウ（正しい）：観阿弥・世阿弥の親子は、足利義満の保護を受けて、**室町時代**に能（能楽）を大成した。
エ：歌川広重の「東海道五十三次」は、**江戸時代**（化政文化）の浮世絵。

採点ポイント: 人物・作品と時代を結びつける（能＝室町、金剛力士像＝鎌倉、近松＝元禄、広重＝化政）。

3　問4（3点）

ア

解説:
ア（正しい）：井原西鶴は、大阪の町人の生活や欲望を描いた**浮世草子**を書いた。元禄文化の代表的な作家。
イ：十返舎一九の「東海道中膝栗毛」は、江戸時代後半の**化政文化**。
ウ：葛飾北斎の「富嶽三十六景」も、**化政文化**の浮世絵。
エ：杉田玄白らの「解体新書」は、18世紀後半に出版された**蘭学**の成果で、元禄文化より後。

採点ポイント: 元禄文化（上方の町人・井原西鶴・近松門左衛門・松尾芭蕉）と化政文化（江戸の町人・十返舎一九・葛飾北斎・歌川広重）を区別する。

3　問5（3点）

エ

解説:
X（誤り）：ムハンマドがイスラム教をおこしたのは、**7世紀**。日本では飛鳥時代にあたり、室町時代より前。
Y（正しい）：コロンブスは**1492年**にカリブ海の島に到達した。日本では室町時代。
Z（正しい）：ルターが宗教改革を始めたのは**1517年**。日本では室町時代。

よって X－誤　Y－正　Z－正。

採点ポイント: 日本の時代（室町時代＝14〜16世紀）と、世界のできごとの年代を対応させる。

4　問1（3点）

版籍奉還

解説: 新政府は中央集権をめざし、1869年に大名に土地と人民を天皇（政府）に返させた。これを**版籍奉還**という。しかし、もとの大名がそのまま藩の知事となったので、1871年に**廃藩置県**を行い、藩を廃止して県をおき、政府が任命した県令（のちの知事）を派遣した。

採点ポイント: 漢字4字指定。「廃藩置県」は1871年の別の政策なので不可。

4　問2（3点）

エ

解説: 地租改正では、土地の所有者に**地券**を発行し、土地の値段（**地価**）の**3%**を、**現金**で納めさせた。収穫量に関係なく一定の税収が見こめるようになり、政府の財政は安定した。
ア：収穫高の一定の割合を米で納めるのは、江戸時代の年貢のしくみ。
イ：20歳以上の男子に兵役を義務づけたのは、徴兵令。
ウ：地価ではなく収穫量に応じて納めるという点が誤り。

採点ポイント: 地価の3%を現金で納める、が地租改正の中心。

4　問3（5点）

欧米諸国に対抗できる国力をつけるため、近代産業を育てようとしたから。

解説: 明治政府は、欧米諸国に対抗できる国力をつけるため、「**富国強兵**」をスローガンに、経済を発展させて軍隊を強くしようとした。そのために進めたのが**殖産興業**で、外国から技術者や機械を取りいれ、官営の模範工場（富岡製糸場など）をつくって**近代産業**を育てた。

採点ポイント（5点満点）:
2点：欧米諸国に対抗できる国力をつけるため、という目的
2点：近代産業（工業）を育てるため、という内容
1点：文として意味が通っている

4　問4（3点）

イ

解説: 年代の順は次のとおり。
④ 五箇条の御誓文が出される（**1868年**）
③ 廃藩置県が行われる（**1871年**）
② 学制が公布される（**1872年**）
① 地租改正が始まる（**1873年**）

新政府は、新しい政治の方針を示したあと、中央集権を進め、教育や税のしくみを改めていった。

採点ポイント: 御誓文（1868）→廃藩置県（1871）→学制（1872）→地租改正（1873）の順に覚える。

4　問5（3点）

ウ

解説: 農地改革では、地主が持つ小作地を政府が買い上げ、小作人に安く売りわたした。その結果、自分の土地を耕す**自作農**が増え、地主と小作人の格差が小さくなった。
ア：財閥の解体は、経済の民主化のための別の改革。
イ：20歳以上の男女に選挙権が与えられたのは、1945年の選挙法の改正。
エ：地価の3％を現金で納めるのは、明治の地租改正。

採点ポイント: 農地改革＝小作人が土地を持てるようにした改革。地租改正と区別する。

5　問1（3点）

精神

解説: 自由権は、**精神**の自由、**身体**の自由、**経済活動**の自由の3つに大きく分けられる。精神の自由には、思想・良心の自由、信教の自由、集会・結社・表現の自由、学問の自由がふくまれる。

採点ポイント: 漢字2字指定。

5　問2（4点）

男女雇用機会均等

解説: 雇用の場で男女を平等にあつかうために、1985年に**男女雇用機会均等法**が制定された。募集・採用や昇進などで、性別を理由とした差別が禁止された。また、1999年には、男女が対等な立場で社会に参加することをめざす**男女共同参画社会基本法**が制定された。

採点ポイント: 漢字8字指定。「男女共同参画」は別の法律なので不可。

5　問3（3点）

ウ

解説:
ア：信仰する宗教を自由に選ぶのは、**精神の自由**（信教の自由）。
イ：職業を自由に選ぶのは、**経済活動の自由**（職業選択の自由）。
ウ（正しい）：裁判官が出す令状がなければ原則として逮捕されないのは、**身体の自由**。不当な逮捕や拷問を防ぐために保障されている。
エ：意見を新聞や出版物で発表するのは、**精神の自由**（表現の自由）。

採点ポイント: 令状・拷問の禁止・黙秘権などは身体の自由。

5　問4（3点）

イ

解説: 1922年に結成されたのは**全国水平社**。被差別部落の人々が、自分たちの手で差別からの解放をめざした。
ア：青鞜社は、平塚らいてうらが1911年に結成した女性の団体。
ウ：新婦人協会は、平塚らいてうらが1920年に結成し、女性の政治参加などを求めた。
エ：日本農民組合は、1922年に結成された小作人の組合で、小作料の引き下げなどを求めた。

採点ポイント: 1922年＝全国水平社（部落差別）。日本農民組合も1922年だが、小作人の団体。

5　問5（3点）

ア

解説: 選挙区によって議員1人あたりの有権者数がちがうと、有権者数の多い選挙区では一票の価値が軽くなる。これは、すべての国民は**法の下に平等**であるという日本国憲法の定めに反するおそれがあるとして、裁判でも争われてきた。
イ：思想・良心の自由は、精神の自由。
ウ：勤労の権利は、社会権。
エ：信教の自由は、精神の自由。

採点ポイント: 一票の価値の違い＝平等権（法の下の平等）の問題。

5　問6（5点）

国民が政治について自由に意見を発表し合うことで、さまざまな意見が政治に反映されるから。

解説: 民主主義の社会では、国民が政治の主人公（国民主権）である。国民が政治について自由に**意見**を発表し、議論できなければ、国民の考えが**政治**に反映されない。表現の自由は、民主主義を支える土台である。このため、国が事前に内容をチェックする**検閲**は禁止されている。

採点ポイント（5点満点）:
2点：国民が自由に意見を発表（議論）できること
2点：政治に意見が反映されること（民主主義を支えること）
1点：以上が表現の自由が大切である理由として述べられていること

6　問1（3点）

西陣織

解説: 京都の西陣で生産された高級な絹織物が**西陣織**。江戸時代には、京都は織物や染物などの手工業の中心として栄えた。現在も、西陣織は国の伝統的工芸品に指定されている。

採点ポイント: 漢字3字指定。

6　問2（3点）

イ

解説: 京都市のある京都府は**近畿地方**、金沢市のある石川県は**中部地方**（北陸）に属する。

採点ポイント: 京都府＝近畿、石川県＝中部（北陸）。

6　問3（3点）

ウ

解説: 経度15度で1時間の時差が生じる。ロンドンは経度0度、日本の標準時子午線は東経135度なので、経度差は135度。135÷15＝**9時間**の時差がある。日本は東にあるため時刻が**進んでいる**。

ロンドンが12月1日午前9時のとき、日本は 午前9時＋9時間＝**12月1日午後6時**。

採点ポイント: 経度差÷15＝時差（時間）。東にある都市ほど時刻が進む。